

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 鳥井学園 第二明泉寺幼稚園

## 1. 本園の教育目標

心身共に健康で人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- ・明るく元気な子ども
- ・素直で思いやりのある子ども
- ・よく考えて正しく行動できる子ども
- ・最後までがんばりぬく子ども

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

よく考えて正しく行動できる子どもを育てる。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
対話的保育（年少は含視覚的保育）を実践する。	B	困っていることを行動や言葉で他者に伝えることができるように保育者が声掛けをしたり、自分で解決できるよう一緒に考えたりすることを積み重ねることによって、幼児は周りの様子を見ながら判断したり、保育者と一緒に考え、解決ができるようになってきた。
聞く力や集中力を養う。	B	聞く態勢づくり（集中できる環境・指遊び・お約束）や読み聞かせの工夫（声量・緩急・間）を継続的に行った。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	「重点目標」や「幼小連携指導3項目：あいさつ・聞く力・集中する力」について全教職員が共通理解し、1つ1つの課題解決に向けて取り組んだ。その結果、保護者の「教育活動に関するアンケート」からも総合的に肯定的な評価を得ることができた。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の改善	主体的に考え、意欲的に行動できる幼児の育成を目指し、さらなる研究の深化を図る。
コロナ後の園の見える化	SNSを活用し、より子どもの育ちや学びの姿が伝わる情報発信を行う。行事等の保護者参加の仕方やPTA活動を工夫し、保護者とともに子どもを育てていく風土をつくる。
働き方改革と教師の資質向上	時間を確保し、園内での職員研修を計画的・継続的に行い（園外研修の報告会など）、保育の質の向上に努める。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

コロナ感染症に関する制限も3年目になり園生活・行事がなかなか思うように進まない中 幼稚園では、子供たちに楽しい思い出づくりに大変ご尽力頂いてとても感謝致します。少しずつ制限が解除されてきたことに対して令和5年度に取り組む課題にしっかりと向き合い対応してもらいたいと思います。園行事、PTA活動のさらなる進化と職員スキルアップに期待いたします。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和5年 3月 29日